

新型コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年4月1日（水）19時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

1 サンパウロ州

4月1日（水）発表

- 1日（水）17時現在、サンパウロ州内の感染者は前日比27%増の2981人、死者は前日比28人増の164人（一日当たりで過去最高）。新たにサン・セバスチャン市、スザノ市、コチア市で死者が発生。死者164人の内訳は男性90人、女性68人で、90代が20人、80代が50人、70代が45人、60代が32人、59歳以下が残り17人。
- （4月7日までの外出自粛措置（クアレンテーナ）の延長可能性に関し、ドリア州知事は）現時点では判断できず、日々の状況を見て判断する必要がある。同措置の延長については4月6日（月）に発表する。
- サンパウロ市は、市内パカエンブー競技場内の新型コロナウイルス患者向け野外病院（200床）の設置が2日（水）にも完工見込みと発表。早ければ今週末（4日～5日）頃には初めての患者が搬送される予定。
- サンパウロ州政府は州内の新型コロナウイルス検査網を拡充。2万の検査キットを既に輸入しており、オズワルド・クルズ財団（Fiocruz）より提供あった1万の検査キットについては、アドルフォ・ルッツ研究所やその他指定研究施設に配布される予定。
- サンパウロ州消費者保護団体（プロコン）は、ガスボンベの価格が高騰しているとの声を受け、供給業者に不当な値上げを行わないように要請するとともに、警察と共に取り締まりを行うと発表。
- サンパウロ州政府は「ヴィバ・レイチ」プログラムを拡充し、4月6日（月）～6月6日（土）、州内高齢者施設に入居する2万1千人の高齢者に牛乳及び栄養補助食品を配給。
- サンパウロ市政府は、市教育局を通じ、市内の学校施設に保管されている生鮮食品等を回収の上、市食糧バンクや市内38の社会開発支援局の回収センターに送付予定。
- サン・ベルナルド・ド・カンポ市は、サンパウロ水道公社（SABESP）と連携し、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市内の公共スペースの衛生環境に向けた塩素処理水の散水を始めたと発表。
- サンパウロ交通公社（SPTrans）はバス停で乗客が距離を保てるように目印を付ける作業を開始。
- 州環境公社（Cetesb）は、外出自粛措置により、サンパウロの大気汚染が減少したと発表。

2 マット・グロッソ州

3月31日（火）～4月1日（水）発表

- 1日（水）18時半現在、州内の感染者数は28人（うち19人が州都クイアバ市）、死者は0人。
- 31日（火）、同州消費者保護団体（プロコン）は、私立学校に子どもを通わせている保護者は、授業料を契約通りに支払うようにとの見解を発表。他方、学校側には、後日での補習や遠隔授業の提供を求めた。
- 31日（火）、同州議会は、同州政府が宣言していた災害事態を同月27日（金）付で承認したと発表。同事態の期間は現状、3月16日（月）から90日間。
- 同州政府は新型コロナウイルス検査キット（RT-PCR法）を1万以上取得したと発表。取得費用は約19万2千レアル。同キットを通じ、同州中央研究所（Lacen-MT）が検査体制の拡充を図る。
- 州政府は、公式サイトに[新型コロナウイルスに関するフェイクニュースの例](#)を掲載。

3 マット・グロッソ・ド・スル州

3月31日（火）～4月1日（水）発表

- 1日（水）17時現在、州内の感染疑いは39人、感染者は51人、死者は1人。
- 同州政府は公立・私立病院での新型コロナウイルス患者向け集中治療病床を拡充。153床増の653床へ。
- マット・グロッソ・ド・スル地域病院は新たに120人の医療従事者を採用。他病院も同様の動き有り。
- カンポ・グランデ市は、インターネットで[新型コロナウイルス感染者の発生マップ](#)を市民に提供。（了）